

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公表番号】特表 2002-530933 (P2002-530933A)
 【公表日】平成 14 年 9 月 17 日 (2002.9.17)
 【出願番号】特願 2000-583195 (P2000-583195)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/08 (2006.01)
H 0 4 J 11/00 (2006.01)
H 0 4 N 5/44 (2006.01)
H 0 4 N 5/455 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/08 D
 H 0 4 J 11/00 Z
 H 0 4 N 5/44 Z
 H 0 4 N 5/455

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 16 日 (2006.10.16)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

搬送波周波数の集合によって多重搬送波信号を形成し、前記搬送波周波数の集合の部分集合によってソースシンボルを搬送するときに、それぞれが同じソースシンボルを搬送するデータフローが供給される少なくとも 2 つの受信経路を利用し、該経路のそれぞれが、評価された経路値及び対応する経路信頼度情報要素を各受信したソースシンボルに関連づける評価手段を含む前記多重搬送波信号を受信するための装置であって、

前記評価された経路値から、前記経路信頼度情報を考慮して該評価された経路値に重みを付けて得られる適用された評価値と、

前記経路信頼度情報要素の関数としての適用された信頼度情報要素と
 を送出する前記評価された経路値を結合させるための手段と、

前記適用された評価値によって供給される重み付き入力復号化手段と
 を含んでなることを特徴とする受信装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 7】

搬送波周波数の集合によって多重搬送波信号を形成し、前記搬送波周波数の集合の部分集合によってソースシンボルを搬送するときに、それぞれが同じソースシンボルを搬送するデータフローが供給された少なくとも 2 つの受信経路を利用し、該経路のそれぞれが、評価された経路値及び対応する経路信頼度情報要素を各受信したソースシンボルに関連づける評価段階を有する前記多重搬送波信号を受信するための方法であって、

前記評価された経路値から、前記経路信頼度情報を考慮して該評価された経路値に重みを付けて得られる適用された評価値と、

前記経路信頼度情報要素の関数としての適用された信頼度情報要素と
を送出する前記評価された経路値を結合するステップと、
前記適応された評価値によって供給される重み付き入力復号化するステップと
を含んでなることを特徴とする受信方法。